

「ゴミはなぜ増える？」

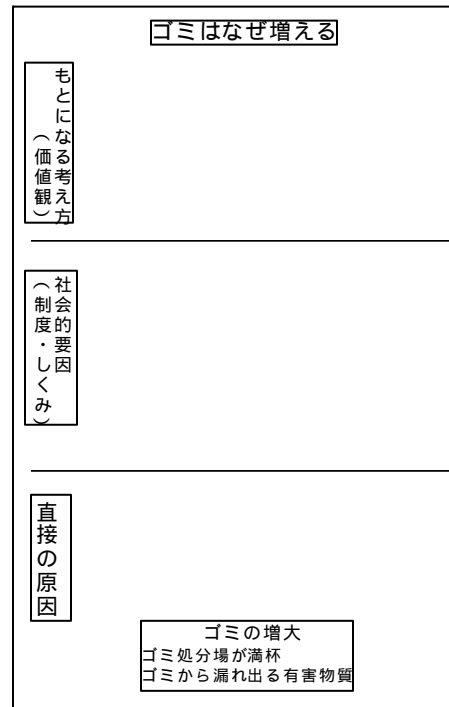
ゴミ問題が深刻なのはもう皆さんご存じでしょう。とにかく大量のゴミが毎日出されるために、ゴミの最終処分場が足りません。また、ゴミの中には有害物質が含まれているために、自然の中で循環しないだけでなく有害物質による汚染も問題になっています。

私たちがたくさんのゴミを出しながら生活しているので、この問題は人ごとではありません。しかし、私たちの生活だけが問題なのではなく、ゴミ問題の背景には「大量生産・大量消費・大量廃棄」という大きな問題があります。

このゴミ問題のワークショップは、個人の生活・行動と社会的背景・考え方の間のつながりをカードを使って考え、自分に何ができるかを考えるのが目的です。

【準備】

- 1、まず5～8人のグループに分かれます。
- 2、グループごとに次のものを準備します。
「ゴミはなぜ増える」カード、1セット
模造紙
マーカーペン
のり
- 3、右の図のように、模造紙を縦に使って、一番上に「ゴミはなぜ増える」、一番下に「ゴミの増大」というカードをのりで貼ります。
- 4、右の図のように、模造紙をだいたい同じくらいの3つのゾーンに分け、各ゾーンの左側に上から「もとになる考え方（価値観）」、「社会的要因（制度・しくみ）」、「直接の原因」というカードをのりで貼ります。

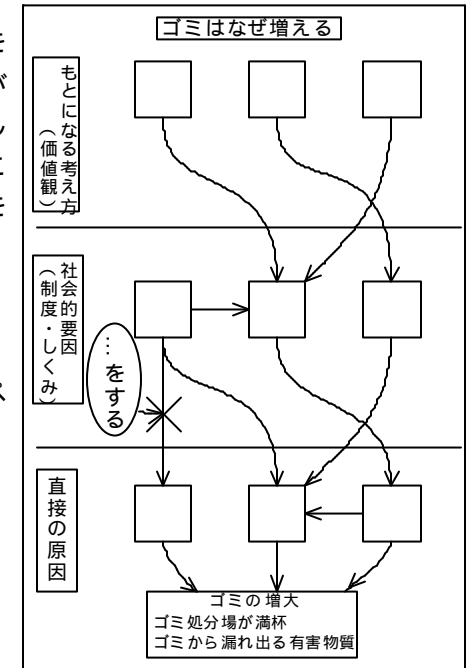


【カードの分類と関係づくり】

- 1、ここから本番です。まず、カードに書かれた内容がどのゾーンに属するかをグループで話し合いながら分類して、ゾーンの中にカードを置いてください。

2、だいたい分類ができれば、カード同士の関係を考えてください。主に「この内容からこういうことが起こる」という因果関係を話し合ってください。話し合っている途中で「こんな事も考えられる」ということに気がいたら、白紙のカードに書いて、カードを追加してもかまいません。

3、分類と関係づくりのメドがだいたいついたら、カードをのりで貼り、カード同士の関係をマーカーペンで書き入れます。因果関係のあるものは縦に並べて、右の図のように「」で結ぶとわかりやすいでしょう。同じゾーンの中で因果関係があってもかまいません。



【どこを断ち切るか考える】

- 1、次に、たくさん書けた因果関係の矢印の中で、自分たちの力で断ち切ることができそうなところを選んで、赤でxをつけて下さい。一つでなくてもかまいません。
- 2、そして、xをつけた矢印を断ち切るにはどんな対策をとればいいのかをグループで話し合ってください。話し合いがいたら、図のように模造紙に書き込んで下さい。

【プレゼンテーションとふり返り】

- 1、グループでの作業がだいたい終わったら、各グループで発表者を決めて、順番に話し合いの内容を発表してください。各グループの発表ごとに質問を受け付けます。
- 2、各グループの発表の次に、ゴミ問題について何か考えるところがあったら意見や質問を出してください。
- 3、最後に、このアクティビティをやってどんなことがわかったか、どんなことを感じたかをふり返ります。それぞれ自分が感じたことを話してください。わかったこと、感じたことを全体で共有しましょう。(この部分は質問用紙に記入することで代えてもかまいません。)

「ゴミはなぜ増える」ワークショップをやってみて

()年()組()番 氏名()

1、カードを分類し因果関係を考える話し合いで、どんなことを感じましたか？

2、因果関係をどこで断ち切るか、どんな対策をとるかを決める話し合いで、どんなことを感じましたか？

3、このワークショップ全体について、感想や意見があったら書いてください。